

市大救援会結成される

— 教職員諸君の積極的参加を呼びかけろ！ —

呼びかけ人

奥村 茂次 (至研教員) 星野 中 (至教員)

(順不同)

望月 八十吉 (文教員) 串部 克之 (工教員)

香坂 順一 (文教員) 建部 秀 (工教員)

推名 教 (原研教員) 小川 孟 (原研教員)

伊藤 昌司 (法教員)

医学部教員会 有志 理学部助手 有志

呼びかけ団体

全共斗・医共斗・理院協・工院協

70年安保斗争の最大の焦点といえる69.10.21. 11月佐藤訪米阻止斗争から70年代斗争へと、全国各地の学園・職場街頭で、反権力斗争の意識性をもった反戦・反安保斗争を展開されていきます。そしてそれにつれて国家権力の弾圧はエスカレートしていきます。70年 70年代斗争を控えて権力は、治安警察の強化と、近代科学生留置で武装した機動隊、更に、治安出動頻習で見られるように自衛隊等のむきだし暴力をもって、我々の斗争を圧殺しようとしています。これは、これまで多くの重傷者の続出、無差別逮捕、長期拘留として現出しています。また東大裁判等にもみられるように、司法機関はその体制的性格をあらわにしています。

大阪市大においては昨年の10月の医共斗によって担われた医学部斗争を突破口とし、今年2月以降全学に、現存の大学の存在そのものを問う学生、院生、教職員の全構成員を巻き込んだ斗争が大規模に展開されてきました。そして大学立法の議会における強行採決、その所当局・大学当局における異質化という形で、今年10月前後に、大学当局は医学部、大学本部に機動隊を導入し、機動隊の常駐体制の中で弾圧を伴った取捨策動を行っています。当日大学当局は、自らな手を汚さず、権力の暴力によって多くの学友を負傷させ、かくとも知れ近くの者を逮捕させました。そのうち現任10名が拘留されています。市大斗争が始まって以来、市大の学友で、学園、街頭での逮捕者は60余名にのぼり、現在かくとも10名の起訴が予定され、今後2年以上にわたる長期の裁判斗争を予ていなければなりません。

権力の激しい弾圧が予想された今年9月に、市大全共斗、医共斗段階で、統一救援対策会議を結成し、救急自護、差入れ、国会、弁護士手続等の活動を行ってまいりました。今後長期の法廷斗争を担いさせません。更に今後70年、70年代の市大斗争、反戦・反安保斗争が大衆的基盤をもった展開されるでしょう。同時に、権力側の弾圧が財政的組織的に強化されるのと合わせて、大衆的基盤をもった救援活動を必要としています。これなくして権力による斗争、弾圧、基本的^{人権の}蹂躪^のに對抗できません。いでしょう。

市大救援会に結集を

連絡先 ・よびかけ人 ・よびかけ団体

(いふれぬ)

救援会本部

工学部B棟

525

Tel内線 3380

責任者 高田紀夫 (至・院生)